

平成25年度第1回当審査会における質問への回答について

番号	質問	回答
1	水質について、現地調査結果の浸出水のBODの検査結果にばらつきがある理由(1.9 mg/l~12.0 mg/l。基準値は20 mg/l)	処分場外から持ち込まれた覆土等に使用する土砂の性状が一定でなく、当該土砂に含まれる有機物の量も一定でないため、ばらつきが発生していると推測される。許可された種類以外の廃棄物の埋立てによるものであれば、検査結果数値はさらに高くなると思われる。
2	大気質について、粉じん濃度の現地調査の測定期間に強風の日がなかったの で、強風の日 の粉じん濃度の測定数値	強風の日 の測定数値はなかった。 計画地は、自然林に囲まれているため仮に粉じんが発生しても飛散防止が見込まれる。また、発生 の防止措置として、十分な覆土の施工と ともに、必要に応じて散水を行うように指 導する。
3	騒音について、嵩上後の地盤高で埋立作業を行った際に与える影響を予測条件とした場合の影響の予測	生活環境影響調査報告書に示された将来騒音レベルを算出した地形的な予測条件は、計画地と予測地点を平面上とし、かつ、地表面、樹木等による減衰は考慮していないものである。したがって、予測条件の計画地の地盤高を嵩上後の高さとした場合の将来騒音レベルの算出結果は、生活環境影響調査報告書に示された数値より低減する。